

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	基礎演技Ⅰ	
開設学科	声優・演劇科		コース名			開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	105時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	「ベーシックテキスト」「はなしことばの練習帳1」「成井豊のワークショップ」その他、必要に応じてプリントを配布。						
担当教員情報							
担当教員	守屋一・長谷川浩司・尾花宏行			実務経験の有無・職種	有・TV番組プロデューサー、俳優、演出家		
学習目的							
<p>学科の教育指標にもあるように、声優・俳優・タレントはすべて「演劇表現を行う者」すなわち「役者」と捉え、「役者」にとって必要な「基礎力」を高めることを最重要視している。この科目では、その重要性を理解し、呼吸法から発声・発音・滑舌といった基礎を学び、グループ学習を用いてコミュニケーション力を養いながら、心と身体を鍛え、最終的に舞台公演等の発表ができるようになるための基礎を身につけることを目的としている。</p>							
到達目標							
<p>正しい呼吸法および発声方法を学び、大きく通る声を作る。発音基礎練習教材を個人・グループで共有し、自ら進んで練習が出来る。与えられた課題台詞等をハッキリと正確に喋ることができる。など、舞台や映像といったジャンルを問わず演じる事を学び、役者としての基礎を工夫して作りあげ、形式や固定観念に囚われず、個の素質を重要視し自分らしい役者になる礎を築くことを目標としている。</p>							
教育方法等							
授業概要	<p>基本的な声の出し方として、呼吸法や発声法、肉体トレーニングを行い、役者としてのルーティンワークの重要性を理解しながらそれをどうやって演技に結びつけて行くかを意識しながら授業を進める。ベーシックな50音の発声や音階を使った発声等、様々な手法を使い、自分に取っての最良な方法を模索しながら、一俳優として一つの役柄、作品にどう取り組んで行くべきかを考察する。</p> <p>第3～4回の授業は、演劇集団「キャラメルボックス」の演出家・成井豊氏による特別ワークショップを実施。</p>						
注意点	<p>学生間・教員と学生のコミュニケーション・協働性を重視する。役者としての常識マナーを身につけるために原則として遅刻や欠席、見学は認めない。集中力を欠かさず、向上心と積極性を持って授業に参加することを求める。グループワークでの発表が多いので、協調性を持ち、授業に参加できるようにコミュニケーションをとり、出された課題は各自クリアをするために日々研究を重ね、授業に臨むこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>						
評価方法	種別	割合	備考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	成果発表 (口頭・実技)	25%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	25%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	演劇概論／演技について			基礎の重要性を理解し、個々の課題（テーマ）を見つける。			
2回	身体訓練と呼吸法／発声・発音（1）			腹式呼吸の仕組みを理解し、発音基礎練習Aをすべて覚え言えるようになる。			
3回	成井豊のワークショップ（1）			身体表現について理解する。			
4回	成井豊のワークショップ（2）			感情表現について理解する。			
5回	身体訓練と呼吸法／発声・発音（2）			発音基礎練習Bをア～ワ行までをすべて覚え、言えるようになる。			
6回	身体訓練と呼吸法／発声・発音（3）			発音基礎練習Bをガ～ピヤ行までをすべて覚え、言えるようになる。			
7回	身体訓練と呼吸法／発声・発音（4）			呼吸法を用いた発音基礎練習をすべてマスターし、自ら訓練することが出来る。			
8回	身体訓練／課題発表			課題台詞「外郎売」の一節を覚えて発表する。リップロール・タンゴトリルをマスターする。			
9回	基礎訓練／言葉と身体・感情表現（1）			課題台詞を用い心の動きを体感する。			
10回	基礎訓練／言葉と身体・感情表現（2）			課題台詞を用いながら五感のエチュードで感性を磨く。			
11回	基礎訓練／外郎売り（1）			「外郎売」の内容を理解し、テキストを見ずにすべてを言えるようになる。			
12回	基礎訓練／外郎売り（2）			全身を使って台詞をわかりやすく表現できるようになる。			
13回	基礎訓練／外郎売り（3）			テンポを考え、メリハリのきいた「グループ（群）」としてのパフォーマンスを仕上げる。			
14回	基礎訓練／外郎売り（4）			「外郎売」パフォーマンスの通し稽古とリハーサルが出来る。			
15回	まとめ・成果発表			発表課題「外郎売」をパフォーマンスとして人前で発表できる。			